

2. 6 日本数学オリンピックチャレンジフォローアップ講座

(1) 研究開発の課題（研究概要・ねらい）

日本数学オリンピックチャレンジに参加した生徒の中から、さらに高度な数学を学びたいと希望する生徒を集めて講座を開くことは、生徒のモチベーションを高め数学の能力が高まることが期待できる。

(2) 研究開発の経緯

主に「日本数学オリンピック」を受験する生徒に対して、過去問題を中心に持ち上げ、単に答えを求めるだけでなく、多面的な考え方の重要性について指導していただいた。

(3) 研究開発の内容

ア 研究の内容・方法

日本数学オリンピックの過去問題を分野ごとに取り上げ、それらに対するアプローチの仕方について学習した。生徒の発表の場を設けて、自分の言葉で説明させることにより、理解を深める工夫をした。

イ 連携先

名古屋大学名誉教授 四方 義啓 先生

ウ 参加生徒

合計 12名（明和1名、向陽5名、一宮6名）

エ 日時場所

多元数理研究所

9/27（日）、10/24（日）、12/6（日）、1/10（日）、2/7（日）、3/6（日）、3/20（日） の計7回

毎回 13:30～17:00 で実施

オ 実施内容

日本数学オリンピック問題の演習、自然現象の数学的理解

カ 検証（成果と反省）

この講座は小人数での実施であり、大教室での一斉講義とは違いきめ細かな指導が実現できる。生徒も日を追うごとに前向きに取り組むようになり、活発な議論が展開されている。また、学校の枠を超えての交流も盛んに行われ、生徒の満足度も高い事業であるといえる。



講義の様子



生徒に質問する四方先生